

## 『防災士』養成カリキュラム

科 目	内容事例	目安時間・講座数
序 論	<ul style="list-style-type: none"> <li>○防災士の役割</li> <li>○過去や最近の自然災害のまとめと教訓</li> </ul>	
1. いのちを自分で守る (自助) ・個人 ・企業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○個人の平常時対策（家族防災会議、備蓄品、避難計画、安否確認計画）</li> <li>○すまいの耐震化（耐震診断、家具固定、建物耐震化、耐震規定）</li> <li>○個人の災害発生時対応（身体防護、火気管理、脱出、救助、避難、安否確認連絡、外出時対応などの要領）</li> <li>○ライフライン（電力、ガス、上水道、電話、鉄道、道路）の被害想定と断絶時対応</li> <li>○災害医療（心理ケア、PTSD）、高齢者・乳幼児対応</li> </ul>	11 時間 (7 講座)
2. 地域で活動する (共助・協働) ・自主防災組織 ・自治体	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の防災活動（自主防災組織、学校での防災活動、防災教育・訓練、普及活動、各地の活動例）</li> <li>○行政の平常時対策（関連法令、防災計画、被害想定、避難計画、防災拠点、生活弱者対策、行政支援制度、相互応援協定）</li> <li>○行政の災害発生時対応（情報の収集・伝達、災害時要配慮者避難、消防活動、救助活動などの要領）</li> <li>○避難所（標示、開設・運営要領、物資調達・分配）</li> <li>○ボランティア（活動の流れ、活動要領、具体的活動例）、緊急救助技術を身につける（災害現場における救出・防火技術、災害時要配慮者の救助・誘導技術）</li> <li>○災害復旧・支援制度（人・企業・産業）</li> </ul>	11 時間 (7 講座)
3. 災害発生のしくみを学ぶ (科学)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地震（活断層、群発地震、液状化）</li> <li>○津波、高潮</li> <li>○市街地大火、火災旋風</li> <li>○火山噴火、火砕流、溶岩流</li> <li>○風水害（台風、集中豪雨、洪水、竜巻、豪雪）</li> <li>○土砂災害（土石流、がけ崩れ、地すべり）</li> </ul>	9 時間 (6 講座)
4. 災害に関わる情報を知る (情報)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○気象予報、警報・注意報</li> <li>○警戒宣言、避難勧告</li> <li>○安否情報、被害情報の発信・伝達・収集</li> <li>○災害報道、インターネットの活用</li> <li>○流言、風評被害</li> <li>○最新の地震活動、地震危険情報</li> <li>○被害想定、ハザードマップ</li> <li>○災害観測・防災システム（防災 GIS、リアルタイム地震学など）</li> </ul>	9 時間 (6 講座)
5. 新たな減災や危機管理の手法を身につける (予防・復興)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○危機管理の基本概念</li> <li>○都市災害の特徴、都市防災計画・技術</li> <li>○企業の防災活動・BCP・危機管理、地域協力</li> <li>○災害と損害保険・共済</li> <li>○災害復興（住宅再建・復興まちづくり）</li> </ul>	8 時間 (5 講座)
6. いのちを守る (救急) ・応急手当 ・救命手当	<ul style="list-style-type: none"> <li>○応急手当の基礎知識</li> <li>○心肺蘇生法、AED の操作方法、大出血時の止血法、傷病者管理法、けが・骨折の応急手当、運搬法など</li> </ul>	3 時間 (2 講座)

※上記科目、6の「いのちを守る」については、救急救命の実技の講習を必要とします。研修のカリキュラム内での実施、または消防署（普通救命講習ⅠまたはⅡ）、日本赤十字社（救急法基礎講習）などが主催する救急救命の実技の講習を履修し、かつ、講習実施機関発行の履修証取得を必須条件とします。

# 目次

● 序論 ●	
第 1 講 近年の自然災害に学ぶ	4 ~ 23
第 2 講 防災士の役割	24 ~ 30
● いのちを自分で守る～自助～ ●	
第 3 講 身近でできる防災対策	31 ~ 43
第 4 講 耐震診断と補強	44 ~ 54
第 5 講 災害とライフライン	55 ~ 72
第 6 講 災害と交通インフラ	73 ~ 81
第 7 講 災害医療	82 ~ 91
● 地域で活動する～共助・協働～ ●	
第 8 講 行政の災害対応	92 ~ 110
第 9 講 避難所運営と仮設住宅の暮らし	111 ~ 125
第 10 講 災害と応急対策	126 ~ 135
第 11 講 地域の自主防災活動	136 ~ 144
第 12 講 災害とボランティア活動	145 ~ 153
第 13 講 緊急救助技術を身につける	154 ~ 162
第 14 講 防災訓練	163 ~ 172
● 災害発生のしくみを学ぶ～科学～ ●	
第 15 講 地震のしくみと被害	173 ~ 179
第 16 講 津波のしくみと被害	180 ~ 186
第 17 講 火山噴火のしくみと被害	187 ~ 195
第 18 講 風水害と対策	196 ~ 214
第 19 講 土砂災害と対策	215 ~ 226
第 20 講 火災と防火対策	227 ~ 233
● 災害に関わる情報を知る～情報～ ●	
第 21 講 災害情報の発信と入手	234 ~ 242
第 22 講 災害と流言・風評	243 ~ 249
第 23 講 公的機関による予報・警報	250 ~ 271
第 24 講 地震に関する知見・情報	272 ~ 287
第 25 講 被害想定とハザードマップ	288 ~ 297
第 26 講 避難と避難行動	298 ~ 309
● 新たな減災や危機管理の手法を身につける～予防・復興～ ●	
第 27 講 都市防災	310 ~ 321
第 28 講 災害と危機管理	322 ~ 328
第 29 講 企業防災と事業継続計画	329 ~ 337
第 30 講 災害と損害保険	338 ~ 344
第 31 講 地域の復旧と復興	345 ~ 359
● 紹介資料	NPO 法人日本防災士会について 360 ~ 363
● 索引	364 ~ 368